

中部縦貫自動車道整備促進

# 提 言 書

平成20年7月23日

中部縦貫自動車道建設促進福井県協議会

## 提 言

中部縦貫自動車道は、北陸圏と中京圏、首都圏を最短ルートで結び、また、国土の東西軸の強化につながる国家的見地からも欠くことのできない道路であり、今後10年～15年で全線整備しなければならない「真に必要な道路」であります。

現在、大野市中心部から油坂峠にかけては、未だ事業着手されておらず、国道158号が唯一の地域をつなぐ道路となっていますが、特に、大野市富田地区から和泉地区（旧和泉村朝日）にかけての区間は、線形不良箇所が多く、交通事故や災害による通行止めも頻繁に発生しております。

このようなことから、同区間の事業に一日も早く着手し、さらに、早期に中部縦貫自動車道全線を開通させることが、県民の暮らしの質の向上に欠かせないものとなっております。

つきましては、本路線の整備を図るため、次の事項について特段の配慮を賜りますようお願い申し上げます。

### 記

- 一 大野油坂道路について、一日も早く事業着手の決定を行い、今後10年～15年での全線開通を図ること。特に線形不良等の現道状況の厳しい富田地区から和泉地区にかけての区間を優先的に事業着手すること

- 一 永平寺大野道路の整備を促進し、平成20年度中に上志比・勝山間を開通させるとともに、遅くとも平成28年度までの全線開通を図ること
- 一 高規格幹線道路は、国の最も基幹的な社会資本であり、今後とも国および地域の社会・経済の発展を支えるため、国の責任において、安定的に財源を確保し、着実に整備を推進すること
- 一 平成21年度政府予算においても、所要の建設予算を確保すること

平成20年7月23日

中部縦貫自動車道建設促進福井県協議会

会 長 福井県知事

西川一誠



# 中部縦貫自動車道概要図

